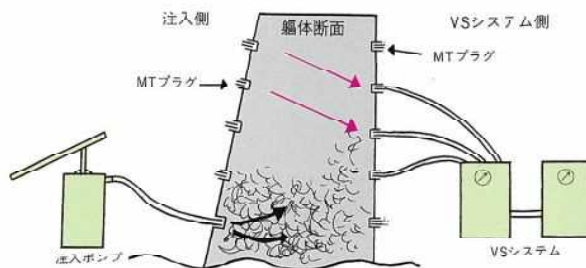


ミクロのひび割れに挑戦する補修用注入システム

コンクリート構造物のひび割れ補修に関して、エポキシ樹脂やセメント系等の補修剤で注入が行われているが、現状としてはひび割れ内部の残留空気が圧縮され隅々まで注入、充填されないのも現実である。数多くの施工実績と経験を生かし残留空気の抜き取り技術 VS 装置を開発し、その信頼性と多くの実績を納め好評を得ております。

VS システム



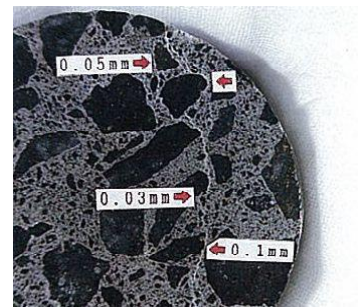
VSシステムとプラグ



VSシステムによる注入施工中

VS システムの特長

1. 0.05mm以下のひび割れにも注入、充填が可能である。
2. ひび割れ内部に水が存在する場合でも注入できる。
3. 低圧注入、充填が可能である。(注入圧が1kg から3kg)
4. 誘導剤の挿入により、注入本剤がひび割れ内部の流動抵抗を押え、注入・充填を促進させることを可能にした。
5. MTプラグの接続をVS装置と注入装置で共用し、連続した長いひび割れにも短時間で注入ができ経済的です。



MTプラグの間隔

MTプラグの取付

ひび割れ幅・・・0.05mm～0.2mm程度の場合は30cm間隔を標準とする。

ひび割れ幅・・・0.30mm～0.6mm程度の場合は50cm間隔を標準とする。

ひび割れ幅・・・0.70mm～1.0mm程度の場合は100cm間隔を標準とする。

施工フロー

